

予算	会計	一般会計			予算区分	現年
	款	07 商工費	項	01 商工費	目	01 商工総務費
事業名	産業振興支援費			担当課	商工文化課	予算書頁 P132
R8当初予算額(A)		R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)
1,585千円		1,588千円		△ 3千円		△ 0.2%
予算額の財源内訳						
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)
0千円		0千円		0千円		1,585千円

【事業の目的】

企業誘致・企業立地の促進並びに市内企業の産業振興を支援し、新企業の誘致、新産業の誘導を促進する。

【事業の概要】

- 報償費 20千円
- 旅費 150千円
- 通信運搬費 5千円
- 委託料 1,400千円
- 使用料及び賃借料 10千円

[財源内訳]

○—

[主な内容]

①地域経済振興会議

経済情勢や社会情勢に精通する有識者を委員として迎え、市内経済の活性化や産業振興、企業誘致等についての意見やアドバイスを受け、市の政策に活かす。

あわせて、委員に企業紹介の仲介を依頼し、実際に本市での新たな事業展開に興味を持つ事業者との面談へつなげ、道の駅隣接地をはじめとした公共施設の売却・譲渡を推進する。

②関東圏や関西圏、中京圏における企業誘致活動の実施

関東圏や関西圏、中京圏において複数の事業者を訪問し、道の駅隣接地をはじめ市内の公共施設の活用に向けた交渉活動を行う。

【地域経済振興会議主な議題】

- ・ふるさと納税について
- ・道の駅隣接地について
- ・公共施設の売却について ほか

予算	会計		一般会計			予算区分		現年	
	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費			
事業名	企業振興助成金			担当課	商工文化課		予算書頁	P132	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)				
1,625千円	4,870千円		△ 3,245千円		△ 66.6%				
予算額の財源内訳									
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)			
0千円		0千円		0千円		1,625千円			

【事業の目的】
 市内企業の規模拡大、事業継続及び企業誘致を推進するため必要な奨励措置を講じ産業の振興を図る。

【事業の概要】
 ○補助金 1,625千円

[財源内訳]
 ○-

[主な内容]
 ①企業振興助成金
 企業が事業拡大のため、新たに工場等の新設や増設、空き工場の取得等をした場合に、土地家屋の取得費の20%、償却資産取得費等の10%、市民の新規雇用や既存工場の社員が市内に移住した場合に1名につき50万円の助成金を交付する。

年度	R4	R5	R6	R7(見込)	R8(予算)
指定件数	3	2	3	1	2

予算	会計		一般会計			予算区分		現年	
	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費			
事業名	商工振興事業費			担当課	商工文化課		予算書頁	P132	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)				
13,323千円	8,868千円		4,455千円		50.2%				
予算額の財源内訳									
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)			
0千円		0千円		0千円		13,323千円			

【事業の目的】
 市内商工業者等への支援を行いつつ、まちなかの賑わいを創出することにより観光の産業化を推進する。

【事業の概要】
 ○報償費 1,173千円 ○印刷製本費 22千円
 ○委託料 5,890千円 ○使用料及び賃借料 486千円
 ○負担金 226千円 ○補助金 5,526千円

[財源内訳]
 ○-

[主な内容]
 ①繊維のまち勝山推進事業
 勝山の基幹産業である「繊維産業」の振興のため、オープンファクトリーによる産地活性化支援事業、繊維講演会、繊維産地振興事業を行う。

②地域資源活用商品開発支援事業委託料 【新規】[5,890千円]
 地域力創造アドバイザーを招へいし、一般社団法人KICSとともに市内の地域資源を最大限に活用した魅力的な商品の開発を行うことにより、地域産品の販売促進と地域経済の活性化に貢献する。

③商業施設出店促進事業補助金
 商業施設の開設に係る改修費及び開設後3年分の土地、建物の賃借料の一部を補助。補助対象者が女性、または申請時に39歳未満の者については交付限度額を2割増とする。

年度	R4	R5	R6	R7(見込)	R8(予算)
件数	0	3	3	2	1

④中小企業振興対策資金等利子補給金
 勝山市中小企業振興対策資金、勝山市小規模企業振興対策資金、勝山市新規開業資金勝山市公害防止施設等整備資金および小規模事業者経営改善資金(マル経融資)のいずれかの融資を受けた者に対し、利子補給金を交付する。

年度	R4	R5	R6	R7(見込)	R8(予算)
件数	61	43	54	57	60
金額	1,005	817	921	1,166	1,136

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費		
事業名	商工会議所補助金			担当課	商工文化課		予算書頁	P133
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
9,680千円	9,680千円		0千円		0.0%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		9,680千円		
【事業の目的】								
市内商工業者等への支援を行いつつ、まちなかの賑わいを創出することにより観光の産業化を推進する。								
【事業の概要】								
○補助金 9,680千円								
[財源内訳]								
○-								
[主な内容]								
①勝山産業フェア開催事業補助金 市内企業の技術力を紹介することで市民への理解を深め、販路開拓と消費拡大による市内産業の発展を促す取組に対して補助する。農産物のPRや販売会等のブースを設け、来場者の増員を図る。								
②商工業振興対策事業補助金 企業経営支援、産業と観光のまちづくりの推進等に係る取組みに対して補助する。								
③中小企業相談所補助金 中小企業への相談業務、金融支援、各種セミナーの開催等に対して補助する。								
④まちなか創業活性化支援事業補助金 空き店舗等の貸付物件等の情報提供および「創業塾」等の創業者支援に係る取組に対して補助する。								
⑤勝山納涼花火大会魅力アップ事業補助金 【新規】[1,000千円] 勝山納涼花火大会のさらなる魅力アップに向け、オープニングを彩る特製仕掛け花火の打ち上げ費用等に助成する。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費		
事業名	商工貸付金・預託金			担当課	商工文化課		予算書頁	P133
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
275,000千円	275,000千円		0千円		0.0%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		275,000千円		0千円		
【事業の目的】								
金融機関と協調し、低利の融資制度を設け、市が原資の一部を預託することで商工業の振興と健全発展及び市民の生活の安定と福祉の向上を図る。								
【事業の概要】								
○貸付金 275,000千円								
[財源内訳]								
○公害防止施設等整備資金預託金戻入 5,000千円 ○市民生活安定資金預託金戻入 30,000千円 ○中小企業振興対策資金預託金戻入 240,000千円								
[主な内容]								
①中小企業振興対策資金等 中小企業者、小規模事業者、新規開業事業者に事業資金を融資することにより、自主的な経営の合理化及び近代化を促進し、その経済的地位の向上を図るため、市内金融機関(福銀、越信、福邦、北銀)に年度当初に一定額を無利子で預託し、市内の中小企業に対し低利率の融資を行う。								
②市民生活安定資金 市民の生活の安定と福祉の向上を図るため、越前信用金庫に年度当初に一定額を無利子で預託することにより、市民に対し低利率の融資を行う。								
融資状況 (千円)								
年度	年度	R4	R5	R6	R7(見込)	R8(予算)		
中小企業振興対策資金等	件数	14	10	13	12	-		
	金額	60,400	42,750	85,000	36,550	-		
市民生活安定資金	件数	0	0	0	0	-		
	金額	0	0	0	0	-		

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費		
事業名	自然公園等管理費			担当課	商工文化課		予算書頁	P134
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
586千円	766千円		△ 180千円		△ 23.5%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
120千円		0千円		0千円		466千円		

【事業の目的】
 白山国立公園及びその周辺を適切に管理することにより、貴重な観光資源の保護・保全・適正利用を図る。

【事業の概要】
 ○報償費 507千円
 ○手数料 21千円
 ○使用料及び賃借料 8千円
 ○補修用資材代 50千円

【財源内訳】
 ○登山道整備委託金 120千円

【主な内容】
 ①登山道及び避難小屋の整備
 登山道等について、各団体に草刈等を委託し、維持管理を行う。
 ②鷲ヶ岳登山道整備
 鷲ヶ岳登山道の整備にかかる原材料を購入し、地元地区による整備を行う。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費		
事業名	恐竜のまち推進事業費			担当課	未来創造課		予算書頁	P134
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
14,170千円	5,220千円		8,950千円		171.5%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
3,141千円		0千円		2,850千円		8,179千円		

【事業の目的】
 これまでのジオパーク活動で培ってきた市民力、地域力をより将来に向けて展開させるため、地域を知り学び、地域資源を活用することにより、持続可能な地域の発展を目指す。あわせて、勝山の自然や歴史文化、自然環境などを確実に保全するための活動の推進を図る。
 この強みを生かし、全国の恐竜好きが集まる「恐竜を学べるまち」となることで、「本物の恐竜のまち」として勝山市を全国にアピールする。

【事業の概要】
 ○報償費 104千円 ○旅費 167千円
 ○消耗品費 130千円 ○燃料費 4千円
 ○修繕料 370千円 ○通信運搬費 25千円
 ○委託料 12,973千円 ○使用料及び賃借料 367千円
 ○負担金 30千円

【財源内訳】
 ○地域未来交付金 3,141千円
 ○参加者負担金 2,850千円

【主な内容】
 ①恐竜ジュニアアカデミーin勝山の開催 【新規】 [11,327千円] (国3,141千円、他2,850千円)
 全国の恐竜好きの中高生が集い共に学べる場として「恐竜ジュニアアカデミーin勝山」を開催し、将来の専門的な学びへとつながる育成の流れを創出するとともに、全国に向けて「恐竜のまち勝山」を発信する。
 ②恐竜講演会の開催 【新規】 [474千円]
 恐竜研究で著名な大学教授を招き、恐竜に関する講演会を開催し、市民が恐竜へ興味や関心を持ち、勝山への誇りや愛着を深め、市全体で「恐竜のまち勝山」を推進するきっかけとする。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費		
事業名	白山ユネスコエコパーク推進事業費		担当課	未来創造課		予算書頁	P134	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
865千円	1,113千円		△ 248千円		△ 22.3%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		865千円		

【事業の目的】
 白山ユネスコエコパークのエリア内の関係自治体と関係団体、住民が連携し、白山ユネスコエコパークの保全と活用に資する活動を通して、持続可能な地域づくりを推進する。

【事業の概要】
 ○使用料及び賃借料 6千円
 ○負担金 859千円

【財源内訳】
 ○-

【主な内容】
 ①白山ユネスコエコパーク【H28登録】
 白山ユネスコエコパークの保全と活用を推進するとともに、関係自治体が連携し持続可能な発展に資することを目的とする白山ユネスコエコパーク協議会への負担金を支出する。
 ユネスコエコパークの登録地は10年ごとにユネスコに定期報告書を提出することとされている。報告書は2024(令和6)年度に作成を開始し、2026(令和8)年度に提出される予定である。必要な経費は令和6,7年度に特別負担金として支出し、令和8年度は通常負担金のみとなる。

・ユネスコエコパーク(国内10地区)
【S55登録】屋久島・口永良部島(鹿児島)、大台ヶ原・大峯山・大杉山(三重・奈良)、白山、志賀高原(長野・群馬)
【H24登録】綾(宮崎)
【H26登録】忠美(福島)、南アルプス(山梨、長野、静岡)
【H29登録】祖母・傾・大崩(大分、宮崎)、みなかみ(群馬・新潟)
【R1登録】甲武信(山梨・埼玉・長野・東京)
 ・白山ユネスコエコパーク構成自治体(4件7市村)
 県：富山県、石川県、福井県、岐阜県
 市村：南砺市、白山市、大野市、勝山市、高山市、郡上市、白川村
 白山ユネスコエコパークは2026年度にユネスコへ定期報告書提出必要あり

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費		
事業名	白山平泉寺観光振興拠点管理費		担当課	商工文化課		予算書頁	P135	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
8,731千円	7,445千円		1,286千円		17.3%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		700千円		0千円		8,031千円		

【事業の目的】
 国史跡白山平泉寺旧境内を史跡白山平泉寺旧境内整備基本計画に沿って活用し、誘客物販によるおもてなし、市民と来訪者との体験交流、情報発信による誘客促進等を通じた地域経済の活性化を図る。

【事業の概要】
 ○給料 23千円
 ○修繕料 770千円
 ○委託料 6,186千円
 ○使用料及び賃借料 912千円
 ○備品購入費 840千円

【財源内訳】
 ○公共施設等適正管理推進事業債(長寿命化事業) 700千円

【主な内容】
 ①白山平泉寺観光振興拠点の指定管理
 株式会社六千坊が指定管理者として管理運営を行う。
 (令和6年4月1日~令和11年3月31日)
 ②平泉寺第1観光トイレ横看板修繕
 看板の足の木材が腐食しているため修繕を行う。
 ③白山亭エアコン取替
 老朽化した白山亭のエアコンを取り替える。

利用人数 (人)

年度	R4	R5	R6	R7(見込)	R8(予算)
人数	10,813	12,247	11,166	13,000	-

バス駐車料金 (千円)

年度	R4	R5	R6	R7(見込)	R8(予算)
金額	708	1,321	1,992	2,310	-

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費		
事業名	観光関連施設等管理費			担当課	商工文化課		予算書頁	P135
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
36,850千円	10,581千円		26,269千円		248.3%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		159千円		36,691千円		

【事業の目的】
 各観光施設の安全確保や美化清掃等を行うことにより、観光客に快適に利用していただくことで、誘客の促進を図る。
 道の駅「恐竜渓谷かつやま」は、道路利用者へ良好な休憩の場の提供、地域情報の発信等により市民と来訪者との交流を促進するとともに、農林水産物等の地場産品の販売による地域産業の振興を図る。

【事業の概要】

○報償費	48千円	○消耗品費	230千円
○燃料費	32千円	○光熱水費	948千円
○修繕料	910千円	○手数料	30千円
○委託料	4,362千円	○使用料及び賃借料	910千円
○修繕工事費	1,700千円	○設置工事費	1,600千円
○負担金	80千円	○補助金	26,000千円

[財源内訳]
 ○行政財産目的外使用料 87千円
 ○自動販売機設置・電気料等 72千円

[主な内容]
 ①桜並木の管理
 弁天桜並木、南大橋桜並木の管理のため、害虫駆除委託や管理地区へ謝礼を支払う。
 ②観光トイレの管理
 トイレ(弁天上流、尊光寺横、しもちょう、布市、小原、岩屋)の管理のため、清掃や浄化槽等の維持管理委託等及び修繕を行う。
 ③恐竜モニュメントの管理
 市内各所に点在する恐竜モニュメントの管理を行う。道の駅「恐竜渓谷かつやま」の恐竜モニュメントについて、再塗装及び修繕を行う。
 ④温泉センター水芭蕉基幹設備等修繕補助金 【新規】[26,000千円]
 事業者の安定的な運営を支援するため、耐用年数が超過している設備の改修等に対する費用について補助金を交付する。

道の駅入込客数 (人)

年度	R4	R5	R6	R7(見込)	R8(予算)
人数	449,581	536,160	626,862	620,000	-

水芭蕉入込客数 (人)

年度	R4	R5	R6	R7(見込)	R8(予算)
人数	108,893	120,806	121,536	106,000	-

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費		
事業名	観光素材魅力アップ事業費			担当課	未来創造課		予算書頁	P136
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
11,415千円	10,898千円		517千円		4.7%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		1,100千円		10,315千円		

【事業の目的】
 地域で育まれてきた文化行事等に市民が一体となって取り組むことによって、観光素材として磨き上げを目指す。

【事業の概要】

○報償費	5千円	○消耗品費	1千円
○委託料	3,499千円	○使用料及び賃借料	200千円
○補助金	7,710千円		

[財源内訳]
 ○観光費寄附金 800千円
 ○地域伝統芸能等保存事業助成金 300千円

[主な内容]
 ①勝山左義長まつりの実施・運営
 実行委員会や管理者である各区と協働しながら、福井県指定無形民俗文化財である「勝山左義長」を実施する。
 ②勝山花物語補助の実施
 勝山市に根差した「花」を活用したイベントの実施に補助をする。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費		
事業名	観光事務諸経費			担当課	商工文化課		予算書頁	P136
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
15,689千円	28,593千円		△ 12,904千円		△ 45.1%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
2,525千円		0千円		49千円		13,115千円		
【事業の目的】								
魅力ある観光情報を発信する等の市外・県外へのPRや、観光素材の魅力アップにつながる取組みを観光事業者や広域観光団体等と連携しながら実施することを通じて観光の振興を図る。								
【事業の概要】								
○旅費	107千円	○消耗品費	1,200千円					
○食糧費	20千円	○通信運搬費	160千円					
○広告料	132千円	○手数料	38千円					
○委託料	7,612千円	○使用料及び賃借料	20千円					
○負担金	6,305千円	○補助金	95千円					
[財源内訳]								
○福井を学ぶ体験旅行推進事業補助金		25千円						
○中部縦貫自動車道開通スタートアップ事業補助金		2,500千円						
○観光絵はがき等売上代金		49千円						
【主な内容】								
①鯉のぼり事業委託料 【拡充】 [2,168千円] 弁天河原に鯉のぼりを掲揚し、市民の憩いの場を提供するとともに観光客の市内誘客を図る。子どもたちの健やかな成長を願い、115匹の鯉のぼりを掲揚する。								
②中部縦貫自動車道開通スタートアップ事業委託料 【新規】 [5,000千円(県2,500千円)] 令和11年春の中部縦貫自動車道県内全線開通をPRするイベントを開催し、市民及び観光客への理解度向上、市内観光施設や特産品の認知度向上を図る。								
③県周遊・聖地巡礼プロジェクト委託料 【新規】 [444千円] 勝山市が舞台の一部となっているアニメのテレビ放送に合わせ、ノベルティやポスター等を作成し、市内への誘客及びアニメファンのSNS投稿による勝山市の魅力発信につなげる。								
④TGRラリーチャレンジ開催支援負担金 7月12日(日)にTOYOTA GAZOO Racingラリーチャレンジを開催し、モータースポーツを通じた地域住民とラリー関係者との交流、法恩寺山周辺のにぎわいづくり及び市内観光を含めた情報発信を図る。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	08 土木費	項	01 土木管理費	目	01 土木総務費		
事業名	土木管理諸経費			担当課	建設課		予算書頁	P138
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
5,761千円	6,170千円		△ 409千円		△ 6.6%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		5,761千円		
【事業の目的】								
各種土木関連団体の総会や研修会への参加などを通じて安全・安心な社会基盤づくりの推進を図る。車両の維持・保守点検を行い、適正な車両管理を行う。								
【事業の概要】								
○旅費	604千円	○消耗品費	1,164千円					
○燃料費	879千円	○修繕料	885千円					
○通信運搬費	142千円	○手数料	155千円					
○委託料	1,179千円	○使用料及び賃借料	481千円					
○負担金	70千円	○公課費	202千円					
[財源内訳]								
○-								
【主な内容】								
①各種同盟会・協議会等参加旅費・負担金 国・県が開催する協議会・同盟会に参加し、道路の整備促進に向けた要望活動を行う。また、国・県が開催する研修会に参加し、安心・安全なインフラの維持管理に努める。								
②車両維持管理 道路維持管理・パトロール車両を適正に保つため、車検及び修繕等を実施する。								
③土木積算システム 各種工事の設計書作成に使用する土木積算システムの保守委託を行い、適切な工事設計業務等に務める。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	01 道路橋りょう総務費		
事業名	道路橋りょう管理諸経費			担当課	建設課		予算書頁	P139
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
6,441千円	5,268千円		1,173千円		22.3%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		6,441千円		
【事業の目的】 道路台帳の整備や各種土木関連団体への加入などを通じて安全・安心な道路の整備を図る。								
【事業の概要】 ○委託料 6,000千円 ○使用料及び賃借料 179千円 ○負担金 262千円								
【財源内訳】 ○-								
【主な内容】 ①道路台帳更新処理業務 令和7年度に改良工事等を行った市道の道路の台帳図・調書の更新を行う。 ②各種同盟会、協会等への負担金 国・県道等の同盟会、協議会等の会費等を負担する。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	02 道路維持費		
事業名	除雪関係費			担当課	建設課		予算書頁	P139
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
337,909千円	221,880千円		116,029千円		52.3%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
84,630千円		21,900千円		0千円		231,379千円		
【事業の目的】 直営作業及び民間業者委託により市道等の除雪作業を行い、冬期間における道路交通の確保を図る。								
【事業の概要】 ○給料 4,538千円 ○共済費 146千円 ○報償費 1,479千円 ○消耗品費 8,272千円 ○燃料費 1,994千円 ○修繕料 4,556千円 ○通信運搬費 192千円 ○手数料 804千円 ○委託料 242,871千円 ○使用料及び賃借料 11千円 ○備品購入費 73,000千円 ○公課費 46千円								
【財源内訳】 ○社会資本整備総合交付金(道路) 84,630千円 ○公共事業等債(道路) 21,900千円								
【主な内容】 ①除雪車運転手の雇用 除雪車運転手として1/1~2/28に会計年度任用職員を6名雇用する。 上記のうち5名は12月および3月も降雪時及び道路管理がある場合に雇用契約する。 ②除雪活動助成事業 区、町内会ほか地域コミュニティでの除雪活動(38地区)に助成を行う。 ③消耗品費・車両整備費 除雪車のタイヤチェーン、凍結防止剤等を購入する。また、除雪車16台及び凍結防止剤散布車1台の車検・点検整備を行う。 ④市道除雪委託費 市道除雪延長238.2kmのうち直営部分を除いた延長について民間37事業者に委託する。 ⑤除雪車両の更新 【新規】[73,000千円(国48,666千円 債21,900千円)] 購入より17年経過したロータリー除雪車の更新を行い、除雪体制の維持に努める。								

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費		目	02 道路維持費
事業名	克雪管理センター管理費		担当課	建設課		予算書頁	P140
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
956千円	1,048千円		△ 92千円		△ 8.8%		
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
0千円		0千円		0千円		956千円	

【事業の目的】
 除雪基地として克雪管理センター（滝波町4丁目）及び中尾スノーステーション（北谷町中尾）の適切な維持管理を図る。

【事業の概要】

○消耗品費	5千円
○燃料費	63千円
○光熱水費	579千円
○修繕料	50千円
○通信運搬費	34千円
○委託料	153千円
○使用料及び賃借料	72千円

[財源内訳]
 ○-

[主な内容]
 ①除雪基地の維持管理
 克雪管理センター及び中尾スノーステーションの光熱水費、電話料等の支払い、天井クレーン等の法定点検を行う。

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費		目	02 道路維持費
事業名	道路維持補修費		担当課	建設課		予算書頁	P140
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
62,973千円	55,404千円		7,569千円		13.7%		
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
0千円		10,900千円		0千円		52,073千円	

【事業の目的】
 道路のパトロール、危険個所の補修や消雪装置の点検・修理等を行い、通行車両、歩行者の安全確保を図る。

【事業の概要】

○給料	2,255千円	○職員手当等	900千円
○共済費	520千円	○報償費	240千円
○消耗品費	247千円	○光熱水費	15,955千円
○修繕料	11,500千円	○保険料	351千円
○委託料	20,440千円	○使用料及び賃借料	215千円
○修繕工事費	7,000千円	○補修用資材代	2,500千円
○備品購入費	160千円	○負担金	690千円

[財源内訳]
 ○公共施設等適正管理推進事業債（長寿命化事業） 9,000千円
 ○緊急自然災害防止対策事業債（道路） 1,900千円

[主な内容]
 ①消雪装置の点検及び修繕
 消雪装置19.9kmの点検及び必要な修繕を行う。

②道路修繕、交通安全施設修繕
 地元からの連絡・要望、道路点検により確認される破損個所の修繕を行う。

③街路灯修繕
 故障した道路照明灯やLED防犯灯の灯具取替を行う。

④街路樹剪定
 計画に基づき、6路線の街路樹を剪定する。

⑤道路修繕工事
 地元からの要望や道路点検による道路の段差解消や路肩の修繕などを行う。

⑥機械器具購入費
 作業を効果的効率的に行うため、バッテリー式のハンディーソーの購入と交換部品が欠品となった老朽化した刈払い機の更新を行う。

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費		目	03 道路新設改良費
事業名	国県道改良事業負担金			担当課	建設課	予算書頁	P141
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
14,680千円	25,350千円		△ 10,670千円		△ 42.1%		
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
0千円		5,000千円		0千円		9,680千円	

【事業の目的】
 県管理道路の改良事業を進捗させ、安全・安心な道路の整備を図る。(県が施工する国、県道改良・雪寒道路整備・消雪工事・河川局部改良に対する負担金)

【事業の概要】
 ○負担金 14,680千円

【財源内訳】
 ○緊急自然災害防止対策事業債(河川) 5,000千円

【主な内容】

①道路改良工事
 野向町横倉地区ほかの道路改良工事を実施する。(県施工)

②雪寒道路整備事業
 勝山停車場線千代田地係(勝山市遅羽町比島から下高島)と栃神谷鳴鹿森田線伊知地地係(勝山市北郷町伊知地)における消雪施設の改修を実施する。(県施工)

③消雪工事
 市内消雪施設の修繕工事等を実施する。(県施工)

④河川局部改良
 一級河川畝見川ほかの河川局部改良工事を実施する。(県施工)

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費		目	03 道路新設改良費
事業名	道路(補助)事業費			担当課	建設課	予算書頁	P142
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
104,315千円	99,640千円		4,675千円		4.7%		
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
55,698千円		38,200千円				10,417千円	

【事業の目的】
 道路を中心とした社会資本の整備、その他取り組みを実施するため、道路メンテナンス事業補助金および社会資本整備総合交付金を活用し、安全・安心な道路の整備を図る。

【事業の概要】
 ○給料 4,300千円
 ○委託料 20,000千円
 ○整備工事費 77,015千円
 ○公有財産購入費 3,000千円

【財源内訳】
 ○道路メンテナンス事業補助金 34,576千円
 ○社会資本整備総合交付金(道路) 21,122千円
 ○公共事業等債(道路) 38,200千円

【主な内容】

①道路インフラの点検
 橋長15m以上の43橋の点検(3巡目)を行う。

②橋梁補修工事
 老朽化等により健全性が低いと判断された栄大橋の補修工事を行う。

③道路改良事業
 市道8-32号線ほか4路線で道路改良を行う。

④消雪施設整備
 平泉寺町平泉寺区で消雪施設の改修を行う。

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費		目	03 道路新設改良費
事業名	道路（単独）事業費		担当課	建設課		予算書頁	P142
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
93,157千円		65,655千円		27,502千円		41.9%	
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
0千円		65,400千円		0千円		27,757千円	

【事業の目的】
市単独で道路の局部改良、照明設備設置、舗装、その他消雪設備の設置等を行うことにより、安全・安心な道路の整備を図る。

【事業の概要】

○給料	1,757千円
○委託料	13,300千円
○改良工事費	27,000千円
○舗装工事費	47,600千円
○その他工事費	3,000千円
○補償、補填及び賠償金	500千円

[財源内訳]

○公共施設等適正管理推進事業債（長寿命化事業）	1,800千円
○緊急自然災害防止対策事業債（道路）	63,600千円

[主な内容]

①改良工事
市道7-169号線ほか6路線で局所的な路肩等の改良工事を行う。

②舗装工事
市道7-135号線ほか25路線、延長約3.5kmの舗装工事を行う。

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	08 土木費	項	03 河川費		目	01 河川総務費
事業名	河川管理諸経費		担当課	建設課		予算書頁	P142
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
1,509千円		1,452千円		57千円		3.9%	
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
546千円		0千円		0千円		963千円	

【事業の目的】
浄土寺川ダム親水公園の維持管理や各種治水関連団体への加入などを通じて河川環境の整備と保全を図る。

【事業の概要】

○光熱水費	50千円
○役務費	12千円
○委託料	218千円
○負担金	137千円
○補助金	1,092千円

[財源内訳]

○地域をつなぐ河川環境づくり推進事業補助金	546千円
-----------------------	-------

[主な内容]

①浄土寺川ダム公衆トイレ清掃管理
浄土寺川ダム公衆トイレの清掃管理業務を浄土寺区に委託し適切な管理に努める。

②各種同盟会・協議会等負担金
県内外の治水砂防関係協会の負担金を支払う。

③地域をつなぐ河川環境づくり推進事業補助金 【拡充】 [1,092千円（県546千円）]
良好な河川環境の整備及び保全のために県管理河川区域において草刈り・清掃活動を行う地域住民団体等（34団体）に対して補助金を交付する。令和8年度から補助基準単価を7.3円/㎡（現行6.3円/㎡）へ引き上げる。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	08 土木費	項	03 河川費	目	02 河川水路維持費		
事業名	河川水路維持補修費			担当課	建設課		予算書頁	P143
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
28,470千円	43,116千円		△ 14,646千円		△ 34.0%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
		25,800千円		0千円		2,670千円		
【事業の目的】								
<p>浚渫や補修等により河川や水路を適切な状態を保つとともに維持管理を行い、冬期間の用水確保や家屋の浸水被害の軽減等の生活環境の改善を図る。</p>								
【事業の概要】								
<ul style="list-style-type: none"> ○給料 720千円 ○修繕料 5,700千円 ○委託料 1,500千円 ○修繕工事費 20,500千円 ○補修用資材代 50千円 								
【財源内訳】								
<ul style="list-style-type: none"> ○緊急浚渫推進事業債 16,400千円 ○公共施設等適正管理推進事業債(長寿命化事業) 9,400千円 								
【主な内容】								
<p>①水路修繕 旭町1丁目ほか9カ所で地元からの連絡や職員による点検により確認された破損個所の修繕を行う。</p> <p>②河川浚渫 普通河川野津又川ほか3河川で令和4年度以降に発生した河川災害等及び経年により堆積が進んだ土砂の撤去を行う。</p>								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	08 土木費	項	03 河川費	目	03 河川水路新設改良費		
事業名	河川水路(単独)事業費			担当課	建設課		予算書頁	P143
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
45,980千円	46,237千円		△ 257千円		△ 0.6%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		45,900千円		0千円		80千円		
【事業の目的】								
<p>既存の水路等を改良し、冬期間の用水確保や家屋の浸水被害の軽減等の生活環境の改善を図る。</p>								
【事業の概要】								
<ul style="list-style-type: none"> ○給料 1,230千円 ○委託料 4,750千円 ○改良工事費 39,500千円 ○補償・補填及び賠償金 500千円 								
【財源内訳】								
<ul style="list-style-type: none"> ○緊急自然災害防止対策事業債(道路) 28,700千円 ○緊急自然災害防災対策事業債(河川) 17,200千円 								
【主な内容】								
<p>①水路改良工事 市道5-2号線ほか5路線で路側水路の改良工事を行う。また、普通河川坂瀬川で護岸の改修工事、普通河川山田川で河川改修のための設計委託を行う。</p>								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	08 土木費	項	03 河川費	目	03 河川水路新設改良費		
事業名	【新規】河川水路（補助）事業費		担当課	建設課		予算書頁	P144	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
1,540千円	0千円		1,540千円		新規			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
770千円		0千円		0千円		770千円		
【事業の目的】 山地周辺の保全及び、土砂災害等から住民や生命や財産を守る。								
【事業の概要】 ○委託料 1,540千円								
【財源内訳】 ○社会資本整備総合交付金（砂防） 770千円								
【主な内容】 ①砂防指定地申請業務 【新規】[1,540千円（国770千円）] 普通河川西谷川（北郷町新町地係）の土砂災害対策工事（県施工）を実施するために必要となる砂防指定地の申請を行う。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費		
事業名	景観整備事業費		担当課	建設課		予算書頁	P144	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
5,016千円	3,016千円		2,000千円		66.3%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
2,500千円		0千円		0千円		2,516千円		
【事業の目的】 歴史や伝統行事が息づく平泉寺や本町通り及び市内各地において良好な景観の保全・形成を図る。								
【事業の概要】 ○報償費 16千円 ○補助金 5,000千円								
【財源内訳】 ○福井の伝統的民家普及促進事業補助金 1,500千円 ○景観まちづくり推進事業補助金 1,000千円								
【主な内容】 ①景観整備事業補助金 伝統的行事や景観が息づくまちなかや、日本遺産に認定されており、国史跡白山平泉寺旧境内が存する平泉寺区などの景観を潤いあるものとし、市民自らの景観への関心を高める誘導策として、建物の外観や塀等工作物の景観に配慮した新築や改築に対する費用の一部を補助する。なお、補助金の交付に関しては、景観審査専門家会議を開催し専門家からの意見及び助言を求める。								
景観整備事業補助金 交付実績（令和7年10月） (件数)								
年度	R4	R5	R6	R7（見込）	R8（予算）			
件数	4	1	2	2	2			
H18からの累計	152	153	155	157	159			

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費		
事業名	都市計画総務諸経費		担当課	建設課		予算書頁	P144	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
1,634千円		36,435千円		△ 34,801千円		△ 95.5%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		10千円		1,624千円		
<p>【事業の目的】 都市計画審議会の開催や各都市計画関連団体への加入等を通じて、都市の健全な発展と秩序ある整備を図る。</p> <p>【事業の概要】 ○報酬 114千円 ○旅費 15千円 ○消耗品費 33千円 ○委託料 1,200千円 ○負担金 272千円</p> <p>[財源内訳] ○地図代 10千円</p> <p>[主な内容] ①都市計画審議会 都市計画法によりその権限に属された事項及び市長の諮問に応じ都市計画に関する事項を審議する。令和8年度は、中央公園の都市計画決定区域に関する審議等を実施予定。</p> <p>②景観審議会 勝山市景観条例に基づき勝山市の景観形成に必要な事項を審議する。</p> <p>③元禄線リニューアル記念イベントの開催 【新規】[1,200千円] 勝山市の中心に位置し、市の顔ともいえる道路である「元禄線」のリニューアル工事が令和8年度中に完了し、片側6.5mの幅広い歩道を備える道路となる。幅広い歩道のメリットを活かし、今後さまざまなイベントの開催地となり得ることを、本イベントを通じて市内外の事業者等に広く知らせ、民間による賑わい創生につなげる。</p>								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	04 下水道費		
事業名	下水道事業費		担当課	上下水道課		予算書頁	P145	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
447,363千円		475,492千円		△ 28,129千円		△ 5.9%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		447,363千円		
<p>【事業の目的】 一般会計から下水道事業会計へ必要となる費用を繰り出し、下水道事業を安定的に運営する。</p> <p>【事業の概要】 ○負担金 418,628千円 ○補助金 28,735千円</p> <p>[財源内訳] ○-</p> <p>[主な内容] ①下水道事業債の元利償還金の一部 ②公営企業会計適用債の元利償還金の一部 ③雨水処理に要する経費 ④地方公営企業職員に係る児童手当に要する経費</p>								

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	08 土木費	項	04 都市計画費		目	05 公園管理費
事業名	公園管理費		担当課	建設課		予算書頁	P145
R8当初予算額(A)		R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)	
78,594千円		66,700千円		11,894千円		17.8%	
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
0千円		12,700千円		65,894千円		0千円	
【事業の目的】							
市民の憩いの場である公園の美化、維持管理を行い、公園施設の安全確保と機能保全を図る。							
【事業の概要】							
○給料	357千円	○報償費	774千円				
○消耗品費	1,000千円	○光熱水費	3,297千円				
○修繕料	3,000千円	○手数料	33千円				
○委託料	40,160千円	○使用料及び賃借料	17,773千円				
○修繕工事費	11,800千円	○補修用資材代	100千円				
○補助金	300千円						
[財源内訳]							
○公園使用及び占用料				50,403千円			
○企画費寄付金(公募型事業資金)				491千円			
○指定管理者納付金				15,000千円			
○公共施設等適正管理推進事業債(長寿命化事業)				5,000千円			
○緊急防災・減債事業債(便益施設整備事業)				7,700千円			
[主な内容]							
①清掃管理委託							
都市公園の清掃(6公園)、草刈り(14公園)、中低木剪定(13公園)、トイレ清掃(8公園)をシルバー人材センターと紫水の郷に、雪囲い(29公園)をシルバー人材センター及び民間事業者に委託する。							
②パークアンドライド							
大型連休などの繁忙期の課題である来園者による公園周囲の渋滞対策としてパークアンドライドを実施する。							
パーク&ライド実施日数							
年度	R4	R5	R6	R7(見込)	R8(予算)		
日数	8	24	24	25	22		
③長山公園整備【新規】[7,706千円(債7,700千円)]							
勝山中学校の開校を見据え、長山公園に至るスロープを新設するとともに、現在の庭園空間を避難場所など多目的に利用可能な芝生広場に再整備する。							
④公園施設修繕工事							
勝山市公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した施設の改修を行う。 立川第1公園、南部第4公園							
⑤長山公園さくらプロジェクト							
令和9年春までの開花を目指すさくらプロジェクトにおいて、法面の草刈りと植樹を行う。							

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	08 土木費	項	04 都市計画費		目	06 公園事業費
事業名	長尾山総合公園(単独)事業費		担当課	建設課		予算書頁	P146
R8当初予算額(A)		R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)	
24,697千円		19,719千円		4,978千円		25.2%	
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
0千円		23,100千円		1,597千円		0千円	
【事業の目的】							
県内外から多くの人々が訪れる長尾山総合公園において、適切な施設整備を行い、更なる利便性、安全性の向上を図る。							
【事業の概要】							
○給料				618千円			
○修繕工事費				1,529千円			
○整備工事費				22,500千円			
○補助金				50千円			
[財源内訳]							
○公園使用及び占用料				1,041千円			
○建物自動車共済金				556千円			
○緊急防災・減債事業債(便益施設整備事業)				23,100千円			
[主な内容]							
①避難路整備工事							
来園者の安全の確保及び大学開校に伴い避難者が増大することにより、第1駐車場進入路の拡幅工事、第3駐車場への避難ルート整備を行い、避難者の通行を円滑にする。							

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	08 土木費	項	04 都市計画費		目	06 公園事業費
事業名	公園（補助）事業費		担当課	建設課		予算書頁	P146
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
100,800千円	53,500千円		47,300千円		88.4%		
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
42,000千円		52,900千円		0千円		5,900千円	

【事業の目的】
 長寿命化計画に基づき、老朽化等により損傷した都市公園の施設改修等を行い、更なる利便性、安全性の向上を図り、長尾山総合公園に生息する希少な動植物との共存を図るため、未買収となっている土地の買収を行い、体験学習会のための整備を行い、生物多様性の確保を図る。

【事業の概要】
 ○給料 4,800千円
 ○委託料 20,000千円
 ○整備工事費 40,000千円
 ○公有財産購入費 36,000千円

【財源内訳】
 ○社会資本整備総合交付金（公園） 42,000千円
 ○公共事業等債（公園） 52,900千円

【主な内容】
 ①公園施設整備工事
 勝山市公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した施設の改修を行う。
 長尾山総合公園複合遊具、柵 長山公園階段更新

②ネイチャーポジティブ公園事業 【新規】 [58,800千円（国22,000千円 債33,100千円）]
 国のネイチャーポジティブ公園事業を活用し、長尾山総合公園内に新たに広場及び駐車場整備等を行うため、測量・設計を実施する。また、第1期エリアの未買収地を取得する。

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	08 土木費	項	05 住宅費		目	01 住宅管理費
事業名	市営住宅維持管理費		担当課	営繕課		予算書頁	P147
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
7,890千円	8,460千円		△ 570千円		△ 6.7%		
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
0千円		0千円		7,890千円		0千円	

【事業の目的】
 市内で住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とした市営住宅9団地（121戸）の維持管理を行う。

【事業の概要】
 ○消耗品費 66千円 ○光熱水費 17千円
 ○修繕料 4,400千円 ○手数料 46千円
 ○保険料 101千円 ○委託料 601千円
 ○使用料及び賃借料 2,560千円 ○負担金 19千円
 ○補償、補填及び賠償金 80千円

【財源内訳】
 ○市営住宅退去負担金 276千円
 ○市営住宅使用料 7,506千円
 ○市営住宅使用料（過年度） 96千円
 ○行政財産目的外使用料 12千円

【主な内容】
 ①市営住宅退去に伴う修繕料等
 市営住宅の退去に伴い、次の入居者のため、原状回復の修繕（畳や襖の張替え、床・壁・天井の修復、水周り設備の取替等）を実施する。

②施設所有者賠償責任保険
 勝山市が所有する公営住宅において、他人の身体や財物に損害を与えた場合、法律上の賠償責任を負担する。

市営住宅 入退去の推移 (千円)

	R4	R5	R6	R7(見込)	R8(予算)
入居	7	6	7	10	10
退去	8	5	11	10	10

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	08 土木費	項	05 住宅費	目	01 住宅管理費		
事業名	定住促進住宅維持管理費			担当課	営繕課		予算書頁	P148
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
4,938千円	5,478千円		△ 540千円		△ 9.9%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		4,938千円		0千円		

【事業の目的】
 市内に居住し又は居住しようとする者で住宅に困窮している者に対して、定住支援を図ることを目的とした定住促進住宅79戸の維持管理を行う。

【事業の概要】
 ○消耗品費 30千円 ○光熱水費 566千円
 ○修繕料 3,750千円 ○手数料 34千円
 ○委託料 558千円

[財源内訳]
 ○定住促進住宅退去負担金 175千円
 ○定住促進住宅使用料 4,513千円
 ○定住促進住宅使用料(過年度) 250千円

[主な内容]
 ①定住促進住宅退去に伴う修繕料等
 定住促進住宅の退去に伴い、次の入居者のため、原状回復の修繕(畳や襖の張替え、床・壁・天井の修復、水周り設備の取替等)を実施する。

定住促進住宅 入退去の推移		(千円)				
	R4	R5	R6	R7(見込)	R8(予算)	
入居	5	7	8	10	10	
退去	11	6	8	10	10	

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	08 土木費	項	05 住宅費	目	01 住宅管理費		
事業名	建築営繕管理諸経費			担当課	営繕課		予算書頁	P148
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
1,276千円	656千円		620千円		94.5%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		1,276千円		0千円		

【事業の目的】
 公共施設の建築営繕工事、修繕工事の適切な設計及び市営住宅等の適正管理を図る。

【事業の概要】
 ○燃料費 136千円 ○修繕料 70千円
 ○手数料 24千円 ○委託料 581千円
 ○使用料及び賃借料 356千円 ○負担金 100千円
 ○公課費 9千円

[財源内訳]
 ○市営住宅使用料 1,276千円

[主な内容]
 ①営繕積算システム使用料
 市の建築営繕工事、修繕工事を請負施工に付する場合の工事内訳書に計上すべき工事の算定について、材工等の複合単価の資料として利用する。
 ②公用車の車両維持管理費
 市営住宅等の点検・作業を実施するため、所管する公用車を適切に維持管理する。
 ③法令チェックリスト作成業務委託 【新規】[581千円]
 建築、土木工事等の設計の際に添付している法令チェックリストの再確認及び新たな法令等の施行に伴うチェック項目の追加について、その作成を弁護士等に委託する。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	08 土木費	項	05 住宅費	目	02 住宅建設費		
事業名	定住化促進事業費			担当課	営繕課		予算書頁	P149
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
6,000千円	7,000千円		△ 1,000千円		△ 14.3%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		6,000千円		

【事業の目的】
 定住人口の増加、空き家を有効活用するU・Iターン者及び子育て世帯への住環境の整備及び子育てや介護の面で助け合いながら暮らすことのできる多世帯近居・同居の推進並びに地域の活性化を図る。

【事業の概要】
 ○補助金 6,000千円

【財源内訳】
 ○-

【主な内容】
 ①定住化促進事業補助金
 勝山市の定住人口の増加を図り、地域の活性化に資することを目的に、住宅取得に要する経費の一部を補助する。

	R4	R5	R6	R7(見込)	R8(予算)
補助件数	6	6	1	8	7

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	08 土木費	項	05 住宅費	目	02 住宅建設費		
事業名	住宅(補助)事業費			担当課	営繕課		予算書頁	P149
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
55,903千円	48,981千円		6,922千円		14.1%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
29,369千円		0千円		0千円		26,534千円		

【事業の目的】
 福井県地域住宅等整備計画に基づく事業を実施する。
 令和4年8月大雨災害に伴う被災住宅の新築に要した経費の借入に対する利子補給を実施する。

【事業の概要】
 ○委託料 940千円 ○改修工事費 21,219千円
 ○取壊工事費 3,200千円 ○補助金 30,544千円

【財源内訳】
 ○社会資本整備総合交付金(地域住宅計画) 25,568千円
 ○木造住宅耐震化促進事業(耐震改修)補助金 1,225千円
 ○福井の伝統的民家普及促進事業補助金 522千円
 ○木造住宅耐震化促進事業(耐震診断等)補助金 235千円
 ○多世帯同居・近居住まい推進事業補助金 852千円
 ○子育て世帯等への住まい支援事業補助金 495千円
 ○ブロック塀等安全対策事業補助金 250千円
 ○被災住宅復興支援利子補給金事業補助金 222千円

【主な内容】
 ①市営旭住宅浴槽設置・トイレ洋式化
 旭住宅について浴室に浴槽がなく、入居者がバランス式浴槽を設置していたことから、順次、浴槽を設置する。また、トイレについても順次、洋式化を行う。
 ②旭住宅2号棟給排水設備更新工事
 旭住宅2号棟の給排水設備が老朽化に伴う更新工事を実施する。
 ③木造住宅耐震改修促進事業補助金 【拡充】[4,550千円(国2,100千円 県1,225千円)]
 木造住宅の耐震改修に対し、1戸あたり1,400千円を上限として補助を行う。ただし、65歳以上の高齢者世帯については、350千円を追加し、1,750千円を上限とする。
 ④住み続ける福井支援事業
 勝山市の定住人口の増加、U・Iターン者及び子育て世帯への住環境の整備及び多世帯近居・同居の推進を図ることを目的に、住宅取得及びリフォームに要する経費の一部を補助する。令和5年度より、中古住宅を賃貸用によりリフォームした場合の経費の一部を補助する。

【次頁へ】

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	08 土木費	項	05 住宅費	目	02 住宅建設費		
事業名	住宅（補助）事業費		担当課	営繕課		予算書頁	P149	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
55,903千円	48,981千円		6,922千円		14.1%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
29,369千円		0千円		0千円		26,534千円		

【前頁より】

⑤克雪住宅推進事業

屋根雪降ろしの負担を軽減し、雪に強く少子高齢化社会に対応した安全で安心して暮らせる住環境整備の促進のため、住宅の克雪化に要する経費の一部を補助する。また、屋根雪下ろしアンカー設置補助を拡充し、その普及を図ることで、除雪作業における安全・安心の確保を図る。

克雪住宅推進事業 (千円)

	R4	R5	R6	R7(見込)	R8(予算)
補助件数	16	4	2	10	24

⑥吹付けアスベスト調査事業

勝山市内民間建築物のアスベストの使用実態を把握し、アスベストによる市民の健康被害の未然防止を図るため、アスベストの含有の有無等に係る調査に要する経費の一部を補助する。

吹付けアスベスト調査事業 (千円)

	R4	R5	R6	R7(見込)	R8(予算)
補助件数	2	2	2	2	2

⑦被災住宅復興支援利子補給金

令和4年8月大雨災害に伴う被災住宅の建設、購入、補修費の借入に対し利子補給する。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	08 土木費	項	05 住宅費	目	02 住宅建設費		
事業名	空き家対策総合支援事業費		担当課	営繕課		予算書頁	P149	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
21,988千円	6,527千円		15,461千円		236.9%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
12,604千円		0千円		723千円		8,661千円		

【事業の目的】

勝山市空き家対策総合実施計画に基づく事業を実施する。

【事業の概要】

○報酬	38千円	○報償費	160千円
○旅費	6千円	○食料費	22千円
○広告料	43千円	○使用料及び賃借料	216千円
○取壊工事費	3,443千円	○補助金	18,060千円

【財源内訳】

○空き家対策総合支援事業補助金(国費)	10,831千円
○空き家対策支援事業補助金(県費)	1,773千円
○環境整備負担金	723千円

【主な内容】

①勝山市空家等対策協議会の運営
勝山市空家等対策計画の運用に関し、計画の変更及び実施に関する協議、特定空家等の認定及び措置に関する協議を行う。

②特定空家解体工事

倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態等にあると認められる空き家「特定空家等」に対し、行政代執行等による空き家の除却を行い、周囲に危害が及ばないように空き家の解消を図る。

③老朽危険空き家解体事業

地域の安全性の向上のため、市内における防災、防犯上危険な老朽空き家の撤去の費用の一部を補助する。

老朽危険空き家解体事業 (千円)

	R4	R5	R6	R7(見込)	R8(予算)
補助件数	5	3	3	5	5

【次頁へ】

予算	会計		一般会計		予算区分	現年
	款	08 土木費	項	05 住宅費	目	02 住宅建設費
事業名	空き家対策総合支援事業費		担当課	営繕課		予算書頁 P149
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)	
21,988千円	6,527千円		15,461千円		236.9%	
予算額の財源内訳						
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)
12,604千円		0千円		723千円		8,661千円
【前頁より】						
④空き家適正管理促進推進事業 市内の空き家が周辺に悪影響を及ぼすことを防ぎ、空き家の適正管理を図るため、空き家の所有者等に対して、管理代行サービスに要した費用の一部を補助する。						
⑤空き家マッチングツアー 【新規】[318千円(国40千円 県128千円)] 中古住宅の市場流通促進、移住希望者への住宅情報提供及び地区主導の移住者対策の実施を目的として、年2回(夏、冬)空き家マッチングツアーを実施する。なお、移住希望の地区を紹介可能な空き家情報とともに公募し、その後、当該空き家の取得を希望する移住希望者を募る。						
⑥空き家利活用促進整備事業 【新規】[15,000千円(国7,500千円)] 昭和25年以前に建築された空き家について、地域の交流施設を兼ねた地域活性化施設に改修する経費を助成する。						